



どうだったの？

平成29年度

旭川市の決算状況

決算は、4月から翌年3月までの1年間にどのような収入があり、何にどれだけお金の使ったのかという結果です。決算の詳細内容は、市政情報コーナー（総合庁舎1階）や市庁でも見ることができます。
【詳細】 財政課 電話25・5672



一般会計

道路や公園の整備、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理など市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です。

収入 1,579億1,234万6千円
(前年度比 15億5,750万3千円増)

市民1人当たりの市税収入は 11万8千円☆

市税 400億2,233万9千円 25.3%
市市民税、固定資産税、軽自動車税など

国庫支出金 349億635万9千円 22.1%
個別の事業ごとに、国から交付されるお金

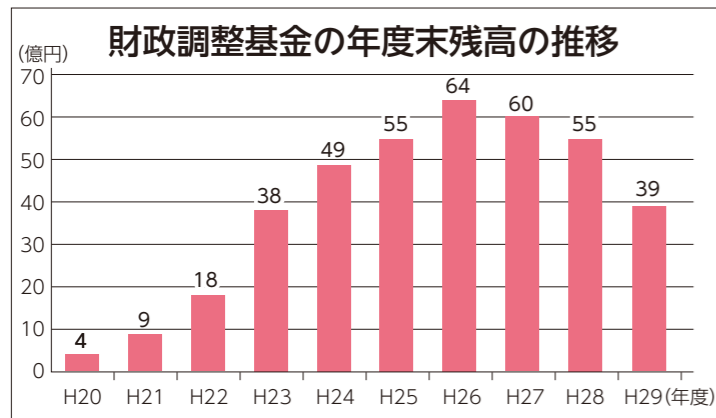
地方交付税 321億163万5千円 20.3%
市の財政力に応じて、国から交付されるお金

市債 147億391万8千円 9.3%
公共施設の建設時などに借入るお金

諸収入 90億9,602万4千円 5.8%
市が貸したお金の返済金など

その他 270億8,207万1千円 17.2%
道からの補助金、施設の使用料など

☆今年4月1日現在の人口338,558人で計算。



支出 1,566億4,619万6千円
(前年度比 15億9,088万4千円増)

市民1人当たりの支出額は 46万3千円☆

民生費 713億6,668万円 45.6%
生活保護や高齢者・障害福祉等の各種福祉事業、子育て支援など

公債費 178億7,149万円 11.4%
市が借入たお金の返済金

職員費 175億509万円 11.2%
市職員の給料、退職手当など

土木費 169億2,226万1千円 10.8%
道路・公園の整備、除排雪など

衛生費 92億842万6千円 5.9%
保健所の運営、ごみ収集・処理など

教育費 91億5,311万5千円 5.8%
学校の整備、図書館の運営など

商工・農林水産業費 81億8,058万7千円 5.2%
商工業・農林業の活性化など

その他 64億3,854万7千円 4.1%
総務費、議会費、消防費など

収入と支出の差引額 12億6,615万円……①
このうち、平成30年度に繰り越した事業に使う額 1億358万7千円……②

①から②を差し引く
実質的な収支額 11億6,256万3千円……③

市の貯金の状況は？

財政調整基金は、予期せぬ減収や災害などの不時の支出に備えるための市の貯金です。平成29年度も積立額以上に取崩したため、年度末残高は前年度より減少して39億円になりました。
※条例に基づき、③の半分（6億円）を積み立てたため、同30年6月時点の残高は45億円です。

特別会計

市民の皆さんから直接いただいた使用料等によって事業を運営するなど、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計とは別に設けている会計です。

会計名	収入	支出	収入支出差引額
国民健康保険事業	436億9,276万9千円	427億8,201万7千円	9億1,075万2千円
動物園事業	14億63万2千円	14億63万2千円	0円
公共駐車場事業	8,376万9千円	7,050万円	1,326万9千円
育英事業	1億1,517万円	8,683万4千円	2,833万6千円
駅周辺開発事業	625万4千円	95万9千円	529万5千円
簡易水道事業	1億598万7千円	1億598万7千円	0円
農業集落排水事業	3,743万5千円	3,743万5千円	0円
介護保険事業	345億2,353万8千円	339億1,795万2千円	6億558万6千円
母子福祉資金等貸付事業	1億6,020万8千円	7,951万1千円	8,069万7千円
後期高齢者医療事業	47億1,499万8千円	47億1,006万5千円	493万3千円
合計	848億4,076万円	831億9,189万2千円	16億4,886万8千円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用者からの利用料などによって事業を行う会計です。

会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額
水道事業	収益的	60億7,525万7千円	55億9,685万6千円	4億7,840万1千円
	資本的	16億8,927万3千円	50億2,904万9千円	△33億3,977万6千円
下水道事業	収益的	93億5,869万6千円	84億8,298万3千円	8億7,571万3千円
	資本的	19億4,018万2千円	53億9,770万9千円	△34億5,752万7千円
病院事業	収益的	114億4,482万2千円	113億5,551万1千円	8,931万1千円
	資本的	10億5,009万9千円	16億5,195万1千円	△6億185万2千円

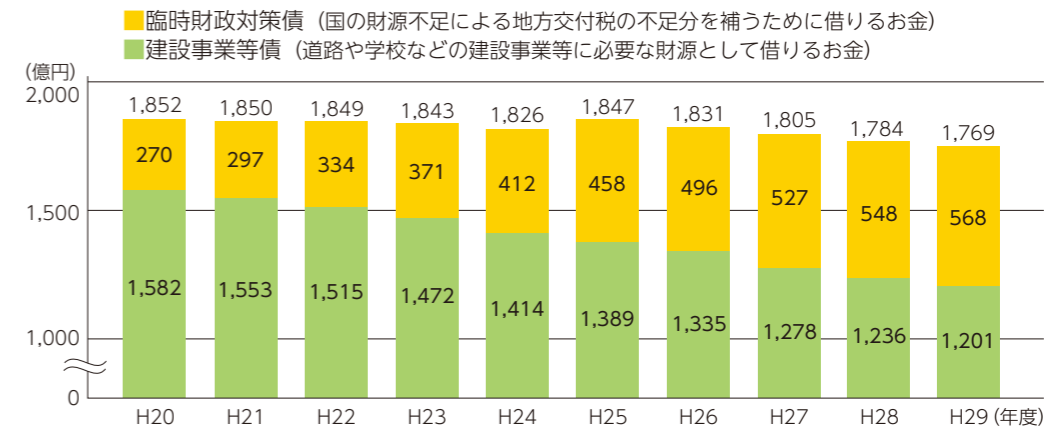
※収益的収入・支出＝水道料金、下水道使用料、病院診療報酬などの収入と、人件費や維持管理費、減価償却費、借入金の利子など事業の運営に必要な支出です。
※資本的収入・支出＝施設や設備の建設改良などの支出と、その財源となる企業債などの収入です。
※△は不足額。資本的収支の不足額は内部留保資金等で補填しており、病院事業会計はこれに加えて一時借入金で措置しています。

市の借金の状況は？

市債とは、市が公共事業などを実施するための借金のことです。市債には、将来にわたって返済していくことで、世代間の負担を公平にするという役割もあります。

市債残高は、建設事業等債の借入れを抑えてきたことで、全体では減少傾向となっています。

市債の年度末残高の推移（一般会計）



※臨時財政対策債の返済費用は後年度の地方交付税の必要額に算入され、地方公共団体の財政運営に支障が生じないように措置されることになっています。